

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	諏訪中央病院組合					
代表者名	氏名	今井 敦	役職名	諏訪中央病院組合長 茅野市長		
主たる事務所の所在地	長野県茅野市玉川4300番地					
主たる事業の分類	大分類	P 医療、福祉				
	中分類	83 医療業				
主たる事業の概要	医療・福祉事業等					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,272	2,206	2,550	2,591	2,526
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,402	4,275	4,913	4,994	4,869
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	43		43	43	43
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	110				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020 年度～	2022 年度
報告対象年度	2022	年度			

3 計画書（報告書）の公表方法等

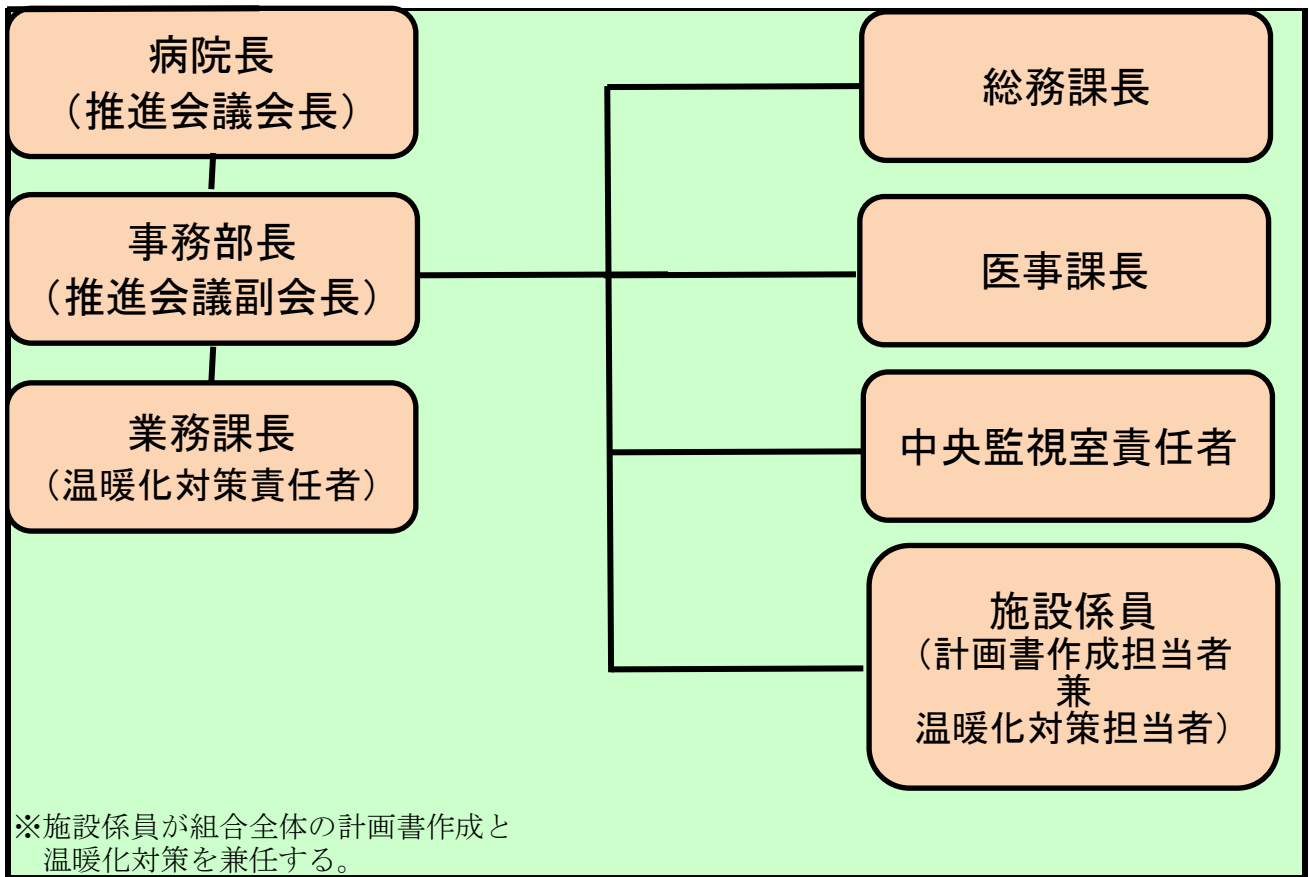
<input type="checkbox"/>	ホームページ	問い合わせ先 諏訪中央病院 事務部 業務課 施設係 月曜日～金曜日 8:30～17:15(祝祭日を除く) TEL 0266-72-1000(代表) 1536(内線)
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

●温室効果ガス排出抑制のためには、病院職員全員が責任感を持って自主的に取り組みを実施する必要がある。具体的な取り組みとして、使用していないエリア（会議室・廊下等）の積極的な消灯や空調機器の停止、冷房中の窓開けの抑制等を実施していく。

●施設管理の側面からは、冷房用送水温度の高め誘導を実施する等機器の省エネルギー運転を実施していく。また、施設・機器の管理を適切な方法で維持・メンテナンスしていき無駄なエネルギー消費をしないよう管理していく。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

名称
組合立諏訪中央病院 地球温暖化対策推進会議

開催頻度
概ね年1回（必要に応じて適宜開催する）

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,402	t-CO ₂	延床面積	42.90	単位	千m ²
2019年度	調整後排出量	3,753	t-CO ₂	基準原単位	102.61	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	4,275	t-CO ₂	目標原単位	99.53	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	2.88	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法にて5年度の間エネルギーの使用に係る原単位を年平均1%以上改善すること及び昨年の暖冬の影響を鑑みて、目標削減率を3%とした。						
第一年度	排出量	4,913	t-CO ₂	延床面積	41.20	単位	千m ²
	削減率	-11.61	%	原単位	119.25	t-CO ₂ /	千m ²
2020年度	調整後排出量	4,103	t-CO ₂	原単位削減率	-16.22	%	
	削減率	6.79	%				
排出量等の増減理由	節電シールを院内の照明スイッチに貼り付けることで職員の節電意識を高めた。昼休憩中に限り、電気を消灯した(事務室のみ) グリーンカーテンの取り組みにより、エネルギー使用抑制につながっている。平均気温等に左右される冷暖房使用量が大きく影響していると考えられる。						
第二年度	排出量	4,994	t-CO ₂	延床面積	41.20	単位	千m ²
	削減率	-13.45	%	原単位	121.21	t-CO ₂ /	千m ²
2021年度	調整後排出量	4,350	t-CO ₂	原単位削減率	-18.13	%	
	削減率	1.18	%				
排出量等の増減理由	昼休み中の1時間に限り、事務室内電気を消灯した。シールによる節電の呼びかけは引き続き継続している。 昨年までコロナウイルス拡大の影響で縮小していた診療が拡大前に戻りつつあることから、電気使用量が増加したと考えられる。						
第三年度	排出量	4,869	t-CO ₂	延床面積	41.20	単位	千m ²
	削減率	-10.61	t-CO ₂	原単位	118.18	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	調整後排出量	4,122	t-CO ₂	原単位削減率	-15.18	%	
	削減率	6.36	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	調整後排出量の削減率は目標達成となった一方で、排出量が目標より多い排出となり達成には至らなかった。2020年度以降は寒冬傾向が続き空調の使用が増えた結果、ガスの使用量が増加したことが排出量増加に影響している。またコロナウイルス感染症拡大によるものも大きい。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	110	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110403	エネルギー使用量の管理	2020	3	2020～ 2022	1
2	エネ起	150204	適正照度の管理	2020	3	2020～ 2021	2
3	エネ起	120202	冷温水出口温度設定	2020	3	2020～ 2022	2
4	エネ起	140203	節水シャワーヘッド	2020	2	2020～ 2022	8.7
5	エネ起	330202	空気調和設備の効率管理	2020	2	2020～ 2022	1
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,512	1	4,055	1	4,115	1	3,986
1,500k1未満	4	890	4	858	4	879	4	883
合計	5	4,402	5	4,913	5	4,994	5	4,869

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	43	43	43	43
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	路線バスやAI乗合バスの停留所を病院に設置しており、公共交通機関の利用を促している。
自転車の利用促進	職員駐車場利用を有料化し、病院近在居住職員の自転車利用や徒歩出勤を推奨している。
来客者の交通対策	タクシー乗り場の整備、バス停留所を設置し、院内にはバス・電車時刻表を掲示している。
物流の合理化	なし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄